



2022年1月28日

沖縄電力株式会社

## 2021年度 第3四半期決算について

### 1. 販売の状況

当第3四半期の販売電力量は、電灯については、他事業者への契約切り替えや夏場の気温が前年に比べ低めに推移したことなどによる需要減により、前年同期を下回りました。電力については、前年に比べ新型コロナウイルスによる影響が弱まったことなどによる需要増があったものの、他事業者への契約切り替えや気温影響による需要減により、前年同期並みとなりました。

この結果、電灯と電力の販売電力量合計は、前年同期に比べ1.1%減の55億72百万kWhとなりました。

### 2. 収支の状況

当第3四半期の収支の状況について、収入面では、電気事業において、「収益認識に関する会計基準」等の適用による電灯電力料（再エネ賦課金）および再エネ特措法交付金の減少はあるが、燃料費調整制度の影響や他社販売電力料などの増加があり、売上高（営業収益）は前年同期に比べ158億2百万円減の1,320億90百万円となりました。

一方、支出面では、電気事業において、「収益認識に関する会計基準」等の適用による再エネ特措法納付金および他社購入電力料の減少はあるが、燃料費などの増加があり、営業費用は前年同期に比べ80億36百万円減の1,271億80百万円となりました。

この結果、営業利益は前年同期に比べ77億65百万円減（61.3%減）の49億10百万円となりました。

また、営業外損益を含めた経常利益は68億13百万円減（58.2%減）の48億83百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は52億46百万円減（58.6%減）の37億円となりました。

### 3. 連結業績予想

2021年度通期の連結業績予想については、電気事業において、燃料費調整制度の影響による電灯電力料の減少や、連結子会社における外部向け売上高の減少があるものの、電気事業における他社販売電力料などの増加により、売上高は前回発表（2021年10月29日）より8億円増（0.5%増）の1,754億円を見込んでおります。

利益については、電気事業において、燃料費や他社購入電力料などの増加により、営業利益は11億円減（18.3%減）の49億円、経常利益は11億円減（19.3%減）の46億円、親会社株主に帰属する当期純利益は9億円減（21.4%減）の33億円を見込んでおります。

別紙：決算の概要

以上

## 【決算の概要】

## ■販売電力量

(単位：百万 kWh)

	2020年度 第3四半期累計 (実績)	2021年度 第3四半期累計 (実績)	増減	増減率
電 灯	2,324	2,265	△59	△2.5%
電 力	3,311	3,307	△4	△0.1%
合 計	5,635	5,572	△63	△1.1%

## ■連結経営成績

(単位：百万円)

	2020年度 第3四半期累計 (実績)	2021年度 第3四半期累計 (実績)	増減	増減率
売 上 高	147,892	132,090	△15,802	—
営 業 利 益	12,675	4,910	△7,765	△61.3%
経 常 利 益	11,697	4,883	△6,813	△58.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8,946	3,700	△5,246	△58.6%

※2021年度の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用しており、2021年度第3四半期に係る売上高については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。このため、売上高の増減率は記載しておりません。なお、「収益認識に関する会計基準」等の適用による2021年度第3四半期の業績への影響額は、264億73百万円の売上高減となります。

## ○連結業績予想（2021年度通期）

連結業績予想については、2021年10月29日に公表した予想数値から修正しております。

## ■連結業績予想（対10月公表値）

(単位：百万円)

	2021年度通期 前回発表予想数値 (10月公表)	2021年度通期 今回発表予想数値	増減 (対10月公表)	2020年度 実績
売 上 高	174,600	175,400	+800	190,520
営 業 利 益	6,000	4,900	△1,100	12,619
経 常 利 益	5,700	4,600	△1,100	11,335
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,200	3,300	△900	8,341

上記業績予想（今回発表予想数値）には、新型コロナウイルス感染拡大の影響として、販売電力量の減（△134百万 kWh）を織り込んでおります。